



分野	河川の護岸築堤等		事業番号、事業名	17 総合流域防災				補助・単独別	補助	建設部 河川課		
番号	ふりがな 箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針	
		全体概要	H22年度	H23年度	H23年度以降		H22年度未進捗率	進捗状況				
4	まねこ 諏訪湖  (岡谷市 諏訪市 下諏訪町)	[2期分] 水辺整備工L=960m (BゾーンL=660m、C ゾーンL=300m) 〔工期：H22～H26〕 〔全体〕 水辺整備工 L=12,000m 〔工期：H13～H26〕	水辺整備工 L=100m(Bゾーン)	水辺整備工 L=100m(Bゾー ン)	水辺整備工 L=860m (BゾーンL=560m、C ゾーンL=300m)	必要性 A	5%	計画どおり進んでいる。 引き続き、水辺整備工を実施する。	これまでの整備実績 や関係者の意見等を 踏まえ、引き続きマス タープランの目的を 実現するため、継続とす る。	必要性が認められ る。	「継続」	
						重要性 A	特記事項 1期は、Bゾーンの水辺整備工に着手した。 平成21年度の諏訪圏域河川整備計画の策定(変更)におい て、環境モニタリング調査や関係者の意見等を踏まえながら事 業を継続することが方針として示された。 H7策定「諏訪湖の水辺整備マスタープラン」に基づく事業。					
						効率性 C						
		1億9000万円	1000万円	2000万円	1億8000万円	緊急性 A	住民参加状況等 アダプトプログラムによる清掃美化活動や自治会や学校等による 河川愛護活動が行われている。					
5	おぎわかわ 小沢川 の 伊那  (伊那市)	[2期分] 護岸工L=235m 落差工N=2基 〔工期：H22～H26〕 〔全体〕 護岸工L=1,618m 落差工N=11基 橋梁工N=7基 〔工期：H13～H26〕	護岸工 L=30m	護岸工 L=60m	護岸工 L=205m 落差工N=2基	必要性 A	65%	計画どおり進んでいる。 引き続き、下流から護岸工を実施する。	流域の資産集積が 高く、重要性が高い ため、継続とする。	必要性が認められ る。	「継続」	
						重要性 B	特記事項 1期は、下流から護岸工を実施した。					
						効率性 A	B/C(費用対効果)=16.7					
		2億3000万円	1億5000万円	6000万円	8000万円	緊急性 B	住民参加状況等 地元関係区等による河川愛護団体による美化活動が行 われている。					
6	しんどがわ 新戸川 の 飯沼  (飯田市)	[2期分] 護岸工L=130m 〔工期：H22～H24〕 〔全体〕 護岸工L=1,560m 〔工期：H18～H24〕	護岸工 L=45m	護岸工 L=50m	護岸工 L=85m	必要性 B	15%	引き続き護岸工を施工する。	流域内に多くの公共 施設や住宅地等が あり、重要性が高い ため、継続とする。	重要性が認められ る。	「継続」	
						重要性 A	特記事項 1期は、用地買収を実施した。 H21補助事業計画見直し：多自然川づくりに配慮した計画に変 更。 H23県道橋梁の架け替えにあわせ、拡幅改良事業を同時施行 する。					
						効率性 A	B/C(費用対効果)=4.7					
		3億4000万円	5200万円	5000万円	2億8800万円	緊急性 B	住民参加状況等 地元自治会によるゴミ拾いや草刈りの活動がある。					

分野	河川の護岸築堤等		事業番号、事業名	17 総合流域防災		補助・単独別	補助	建設部 河川課			
番号	ふりがな 箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針
		全体概要	H22年度	H23年度	H23年度以降		H22年度未進捗率	進捗状況			
7	ふりがな 円悟沢川 まるやま丸山  (飯田市)	[2期分] 護岸工L=320m (工期:H22~H26) [全体] 護岸工L=695m (工期:H17~H26)	休止	休止	護岸工L=320m	必要性 C	0%	事業計画の検討及び関係者協議に時間を要している。	事業区間は、上下流が改修済みの中抜区間であり、治水 上必要性が高い。 一方で、関係者協議及び事業計画の決定に時間を要するため、平成23年度は休止する。	見直し後の計画に沿った整備の必要性は認められる。	「休止」
						重要性 B	特記事項 H18再評価:「継続」...多自然川づくりに配慮し、河川断面等を見直すとともに、コスト縮減を図る。 1期は、調査及び地元関係者との協議を行った。 新たな技術基準に基づき、河川断面等の見直しを行い、地元関係者との設計協議を進め、引き続き事業計画の決定及び地元定着を行う必要がある。 B/C(費用対効果)=1.3				
		3億4000万円	0円	0円	3億4000万円	効率性 B	住民参加状況等 地元まちづくり委員会による草刈や河川清掃等の河川愛護活動が行われている。				
						緊急性 C					
8	ひめわ 姫川 かみしろ 神城  (白馬村)	[2期分] 築堤工L=2,930m 軟弱地盤対策工L=500m (工期:H22~H26) [全体] 築堤工L=2,930m 護岸工L=5,860m 軟弱地盤対策工L=1,500m (工期:H5~H26)	休止	休止	築堤工L=2,930m 軟弱地盤対策工L=500m	必要性 C	0%	平成18年度公共事業評価結果をうけ、計画の見直し中のため休止。	平成18年度の再々評価結果を受け、事業を見直しているため平成23年度は休止とする。	見直し後の計画に沿った整備の必要性は認められる。	「休止」
						重要性 A	特記事項 H18再評価:見直して継続  1期は、下流から護岸工を実施した。 計画最上流部において、護岸計画を一部とりやめ既存の河畔林帯を生かした計画に見直しを行っている。				
		1億2800万円	0円	0円	1億2800万円	効率性 C	B/C(費用対効果)=1.0				
						緊急性 C	住民参加状況等 地元在住の自然保護の専門家の指導のもと、地元住民と協議して工法検討している。				
9	あかだかわ 岡田川  しのの 篠ノ井  (長野市)	[2期分] 護岸工 L=1150m 河床掘削工 V=40,000m3 橋梁 3橋 (工期:H22~H26) [全体] 護岸工L=4,248m 河床掘削工 V=144,000m3 橋梁 17橋  (工期:H17~H26)	護岸工L=410m 河床掘削工 V=17700m3	護岸工L=200m	護岸工 L=740m 河床掘削工 V=22,300m3 橋梁 N=3橋	必要性 A	50%	1期分の護岸工が終了し、H22年度から河床掘削を実施中。	本川沿いでは区画 整理事業が実施されており、保全対象も増加傾向にある。 現在の流下能力はととも低く、早期の改修が必要なため継続とする。	必要性、緊急性が 高く、重要性も認められる。	「継続」
						重要性 A	特記事項 1期は、下流から護岸工・河床掘削工を実施した。 H23変更:2期分の施工延長585m及び事業費5.6億円増。 平成18年7月及び平成22年7月梅雨前線豪雨により内水被害発生。				
		8億円	3億9720万円	1億4800万円	4億280万円	効率性 A	B/C(費用対効果)=3.5				
						緊急性 A	住民参加状況等 特になし				
合計	9箇所	46億4800万円	12億6010万円	5億9800万円	32億9590万円			A:配点の75%以上 B:50%以上75%未満 C:50%未満			